

平成29年度 よりよい学校としていくために

—平成28年度学校評価アンケート結果を踏まえて—

兵庫県立視覚特別支援学校

1 はじめに

平成27年度「学校評価アンケート」で「わからない」という回答が多いことを受け、平成28年度「学校評価アンケート」は、改善に向けて、総務部長を中心に、第3回ビジョン検討会では次世代を担う若手委員の意見も反映し質問内容はじめ評価シートの見直しをしました。

結果、昨年度30項目の質問数を保護者向け14項目、教職員向け17項目に精選し評価を求めることにしました。また、評価方法も従来のA～Eの5段階評価に、学校活動の充実度について選択・記述による回答形式を加えたものに改めました。一方、高等部生徒対象には「学校アンケート」として、学校生活の充実度について9項目をABC3段階で評価するものに変えました。

<p>教職員・保護者 5段階評価</p> <p>A…そう思う。 B…どちらかというと思う。 C…あまりそう思わない。 D…そう思わない。 E…わからない。 ※CDを選んだ場合は、記述欄に理由、改善案などを記入する。</p>	<p>高等部生徒 3段階評価</p> <p>A…充実している。 B…ふつう C…改善の必要がある。 ※Cを選んだ場合は、記述欄に改善案や意見や要望などを記入する。</p>
---	---

「学校評価アンケート」 回答 教職員 68 (100%)・保護者 50 (96%)
「学校アンケート」 回答 高等部生徒 22(96%)

2 教職員、保護者の評価結果をもとに

教職員、保護者を対象に実施した平成28年度「学校評価アンケート」の結果（『平成28年度 学校評価 結果』参照）、総合評価は全項目で評価 B(3.0)を下回るものはありませんでした。質問数が30項目あった昨年度の学校評価結果とスリム化した本年度結果を単純に比較するのは難しいですが、昨年度重点課題として挙げた4項目、

- ①「教育環境・学習環境の整備・充実」
- ②「安心安全な学校づくりの推進」
- ③「行事・体験学習等教育活動の充実」
- ④「卒業後を見据えた進路指導の充実」

に関連する平成28年度評価項目「1.2.5.7.8.9.10.13.16」では、0.1から0.4ポイントほど評価が上がり、昨年度30項目中12あった総合評価C(2.9～2.0)が全くなくなったのは成果の一つです。

3 第4回ビジョン検討会にて

平成29年1月12日、総合評価A、Bの結果に満足せず、よりよい学校づくりに向けて改善点はないか検討しました。その中で、学校の充実度を尋ねる項目の保護者回答を通して、「専門性」について課題があることを見出しました。

保護者43人が「充実している」と回答しながらも「教職員の専門性」を理由に挙げているのが5人(12%)しかいないことや、「充実していない」理由として4名が「教職員の専門性」を指摘していることです。

検討会では、改善に向けた学校全体の取り組みとして、研究授業と事後研修の充実を図る、授業の様子や指導案等を記録する、さらに実践記録集に研究紀要を加え編集していくことなどをまとめました。

4 おわりに

12月、学校評議員より「今年の学校評価は分かりやすい。教員がこの項目を意識して取り組む姿は、保護者に伝わり『わからない』の回答はきっと減る。保護者が評価しやすいアンケート作りを通して教員が一つになることです。」の言葉を頂きました。

今、学部では、ビジョン検討会で課題とした「教職員の専門性」の検討を始めています。平成29年度は、「専門性」をキーワードに、教職員が一つにまとまり、学校として一体感ある取組の推進に努めていきます。